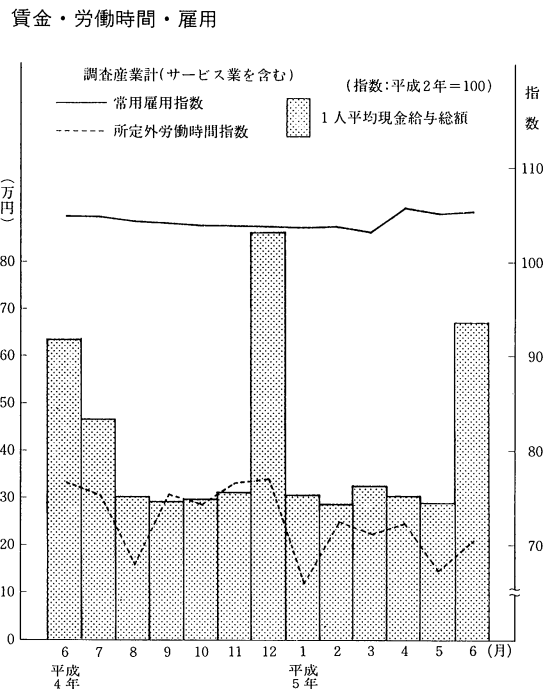
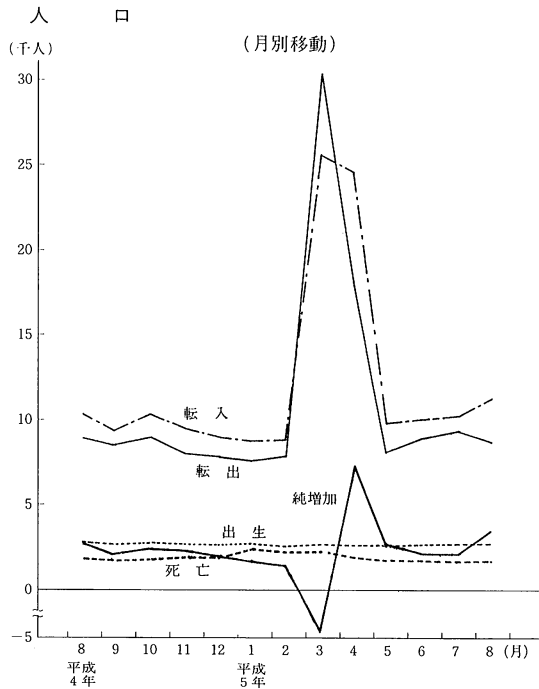
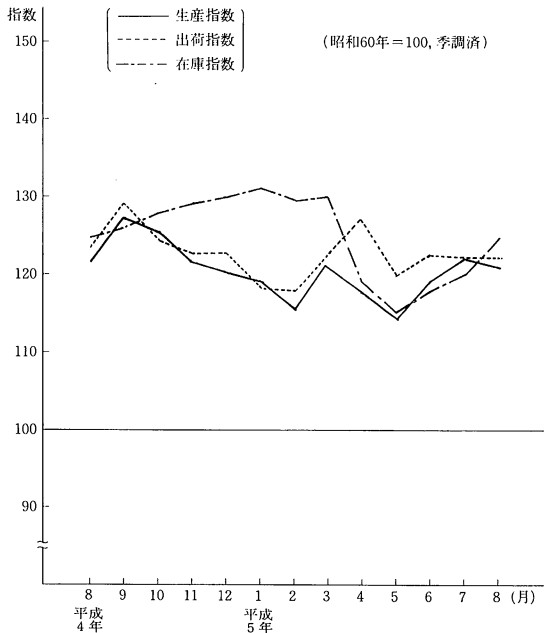


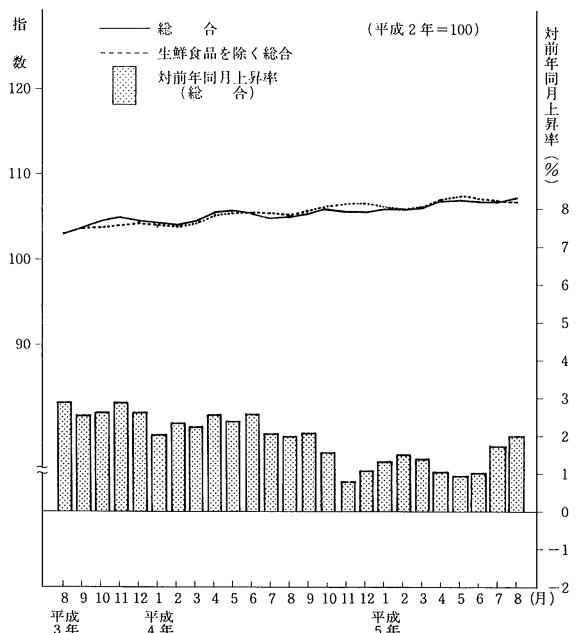
今月の主な動き



鉱工業指数(生産・出荷・在庫)



消費者物価指数



主な動きのあらまし…………… 企画部 統計課

■ 人 口 (9月1日)

本県の人口は、8月中に3,240人増加し、9月1日現在で2,925,239人(男1,462,258人、女1,462,981人)となった。

内訳は、自然動態で978人(出生2,536人、死亡1,558人)増加し、社会動態で2,262人(転入10,851人、転出8,589人)増加した。前年同月と比べると22,448人(0.77%)の増加で

ある。

市町村別では、増加が17市45町村、減少が2市20町村、増減なしが1市2村である。

世帯数についても8月中に1,391世帯増加し893,641世帯となった。

■ 賃金・労働時間・雇用 (6月)

1. 平均賃金の推移

6月の現金給与総額は、調査産業計で665,320円、対前年同月比5.3%増、このうち、きまって支給する給与は295,637円、対前年同月比2.6%増であった。また、このうち、所定内給与は269,030円、対前年同月比2.5%増であり、超過労働給与は26,607円、対前年同月比0.3%減であった。

なお、物価上昇分を差し引いた実質賃金は、対前年同月比5.0%増であった。

※この地方調査の結果は事業所規模30人以上です。なお、事業所規模5人以上の結果についての問合せにも応じます。

2. 労働時間

6月の総実労働時間は、調査産業計で165.6時間、対前年同月比5.0%減であった。このうち、所定内労働時間は151.9時間、対前年同月比4.6%減、所定外労働時間は、13.7時間、対前年同月比7.5%減であった。

3. 雇用の動き

6月の雇用の動きを常用雇用指数によってみると、対前年同月比0.6%増であった。

■ 鉱工業指数〈生産・出荷・在庫〉(8月分)

本県における平成5年8月の“鉱工業指数”(昭和60年=100)は、季節調整済指数で、生産が121.1、出荷が122.6、在庫が125.3で、前月比は、生産が△1.4%の低下、出荷が△0.5%の低下、在庫が4.0%の上昇であった。

前年同月比(原指数)は、生産が△1.6%の低下、出荷が△1.0%の低下、在庫が△1.3%の低下であった。

業種別に前月比をみると生産では、食料品・たばこ工業、繊維工業、窯業・土石製品工業等が上昇し、石油・石炭製品工業、鉱業、鉄鋼業等が低下した。出荷では、食料品・

たばこ工業等、繊維工業、精密機械工業等が上昇し、鉱業、電気機械工業、非鉄金属工業等が低下した。在庫では、精密機械工業、輸送機械工業、鉱業、化学工業等が上昇し、精密機械工業、電気機械工業、鉄鋼業等が低下した。

特殊分類別にみると生産では、非耐久消費財、建設財が上昇し、その他生産財、資本財等が低下した。出荷では、非耐久消費財、建設財等が上昇し、その他生産財、資本財等が低下した。在庫では、その他生産財、資本財等が上昇し、非耐久消費財、耐久消費財が低下した。

■ 消費者物価指数(8月)

平成5年8月の茨城県消費者物価指数(県平均)は、総合で107.0(平成2年=100)となり、前月比0.5%の上昇、前年同月比2.0%の上昇となった。

今月の上がった主な項目……野菜・海草10.0%、調理食品4.9%、魚介類3.5%

今月の下がった主な項目……衣料4.1%、シャツ・下着3.9%、乳卵類1.5%、身の回り用品1.2%

生鮮食品を除く総合は106.6となり、前月比は0.2%の下落、前年同月比は1.3%の上昇となった。

費目別指数

(平成2年=100)

区 分	指数	上昇率(%)		区 分	指数	上昇率(%)	
		対前月	対前年同月			対前月	対前年同月
総 合	107.0	0.5	2.0	保健医療	102.6	0.0	0.3
食 料	108.4	2.4	2.6	交 通 通 信	100.5	0.0	0.9
住 居	112.9	△0.4	2.5	教 育	110.1	0.0	4.1
光熱・水道	103.1	0.0	0.2	教養娯楽	109.6	0.6	1.3
家具・家事用品	101.6	0.7	0.8	諸 雑 費	103.7	△0.2	0.2
被服及び履物	105.4	△2.9	3.4	生鮮食品を除く総合	106.6	△0.2	1.3